学校だより

11月号

令和４年（２０２２年）
１０月３１日

横浜市立洋光台第二小学校

秋本番・様々な行事が始まります

学校長　高島　典子

去る１０月１５日（土）に今年度のYSF（運動会）を無事終えることができました。

３年ぶりに全校児童が一堂に集まってのYSFが実施できましたことを心より嬉しく思います。ありがとうございました。昨年度、「ああ、来年こそは６学年全員が一緒に盛り上げられるYSFを実施したい。」と強く願ったことを思い出します。今年度は学校運営協議会委員である地域の方を少人数お招きして子どもたちへ応援や励ましを頂くと共に、PTA 役員の方々の様々なご協力を得て実施いたしました。また参観された大勢の保護者の皆様からいただいた温かく大きな拍手や応援は、子どもたちに元気を与え、一人一人が精一杯頑張ることができたのではないかと思います。心より御礼申し上げます。

前日、雨が時折降る天候の中、実施の有無を判断しようと副校長と校庭に出た時は、本来水はけの良い本校のグランドのあちらこちらに大きな水たまりができていました。肌寒く日光の差さない今後の見通しの中では、「本当に YSF が明日実施できるのだろうか？無理ではないか。前日準備もどこまでできるか不透明だ。」とため息をついたほどでした。それが午後になり、先生方総出で校庭の水たまりの水を丁寧にかき出し、砂や土を入れて踏み固め、丁寧に整地を行い、ラインを引いたりテントを立てたりするところまで準備ができました。先生方皆のチームワークと地道な努力が素晴らしく、夕方には「これは明日絶対実施できる。良いYSFにしよう！」と決意を新たにいたしました。そして迎えた当日。１年生にとっては初めての運動会。キラキラのポンポンをもって皆楽しそうに大きく踊っていました。色鮮やかなフラッグを使って演技した２年生。速い動きとゆっくりの動きの違いが見事でした。手足を複雑に動かしカッコいいダンスを披露してくれた３年生。一人一人が精一杯体を動かしているのがよく分かりました。そろいの法被をはおり、鳴子をもって演技した４年生。腰も低く、よく揃っていて本当に見事な演技でした。縄跳びを使った演技の５年生。跳びながら前後左右に移動するなど難易度が高く感心しました。手の指先まで気配りの行き届いた静と動が織りなす演技の６年生。静かな動きの中にも美しさや緊張感があり見入ってしまいました。応援団長だった６年男児は、聞けば「１年生の頃からずっといつかは応援団長になりたいと思っていた。」ということで念願かなっての団長であるからこそ、力のこもった迫力の応援となったのでしょう。各学年の徒競走や低・高学年リレーも途中抜きつ抜かれつの白熱戦で感動を呼びました。子どもたちは学校の様々な行事において、目標を立てて頑張ることで大きな成長が見られます。新型コロナ感染防止対策が続く中ではありますが、できるだけ今後も学校行事のよりよい実施を目指していきたいと思います。１１月にかけて、校外学習、遠足、区の児童音楽会、そして２５日・２６日には児童皆が再び全力で頑張るHMF（音楽会）があります。今年度は保護者の方々への演奏披露は土曜日とさせていただきました。是非ご来校いただき、子どもたちに温かいまなざしと応援をよろしくお願いいたします。